

緊急事故処理の作業手順(事故等の通行止時)

※大災害・大事故の場合は、当社の行動基準にも従って業務を行う。

	内 容	留 意 事 項
準備工	緊急時連絡体制の作成・周知徹底(緊急当番表等) 緊急時・災害備蓄品整備 保護具の整備 使用車両・機材の整備	作業計画書に記載・事務所に掲示・従業員に配布 定期的に、数量・品質を確認する 定期点検・整備の実施
緊急呼び出し	緊急当番班長は、中日本高速道路から出動の要請があった場合は、社員・協力会社の呼び出しを行う 連絡先: ①事業所長②副所長③緊急当番社員④その他必要社員⑤協力会社関係⑥特に必要と思われる関係機関(大型機械・特殊材料等)	場所・状況・必要人員・資機材の確認 事故の規模により、事務所連絡員の呼び出し(当社事務所) 呼び出し人数が多かったり、多種類の呼び出しは班員と手分けして連絡する 到着は随時対策本部へ連絡する
本部連絡員	事故状況・災害状況・渋滞・交通規制・近隣地域等の状況把握 必要人員・資材・機材の把握 現地情報の収集と報告 現地への作業指示・事務所連絡員への指示	現地責任者・連絡員と連絡を密に取り、作業班の動向を把握する 現地情報は、NEXCO班長に逐次報告する 作業指示・追加材料指示は確実に行う
現場責任者 (現地確認要員)	緊急当番から要請があったら、直ちに出勤し当社連絡車で現地確認へ出動する(出動前に本部と打合せを行う) 現地状況・必要人数・車両・資材等必要な物を把握し本部へ連絡する 現地の作業進捗状況を適宜NEXCO現場責任者や本部へ連絡すると共に、追加の必要な資機材を調査し本部へ連絡する NEXCO現場責任者・高速隊の指示、作業方法を作業員に指示し、円滑に進行するよう指導・監督を行う 二次災害の防止を考慮して、作業を進める 現場作業班の進捗状況を、適宜対策本部へ報告する	早期通行止め解除を考慮し、効率的に清掃・復旧作業が出来るよう指示する 緊急開口部や一般道使用の必要性があれば、NEXCO現場責任者・対策本部へ連絡し指示を受ける 指揮系統を確立し、各自の役割を明確にし業務を行う 本線だけでなく、隣接地域の確認も行う デジタルカメラを携帯する 問い合わせ及び指示に直ちに応答できるよう注意する 作業状況・交通状況・天候等全体的に把握する
事務所連絡員	必要人員、機械、材料の手配・調達 交代要員、追加機械・材料の確保 廃棄物処理場の手配 緊急作業状況の記録 本社への状況報告	人員、材料の数量の把握 大型機械、特殊材料等の連絡先の確認 緊急作業時系列の記録
作業班	清掃・復旧作業方法を責任者と充分打合せを行い作業する NEXCO責任者、高速隊、現場責任者の指示に従って清掃・復旧作業を行う 作業記録写真の撮影(特に原因者判明は写真が重要となる) 作業出来高の検測	二次災害は充分注意する 早期通行止め解除を考慮し、効率的に清掃・復旧作業を実施する 工事用カメラを携帯する
後片付け	基地に帰着したら本部、事務所へ連絡する 材料、機械、車両を片付ける 油処理剤の使用数量、残数量を本部へ報告する	燃料を満タンに補給する 車両収納時は、確実に誘導を実施する 使用した材料の補充を行う 油処理剤の残量が少ない場合は、NEXCO担当者に連絡し補充を依頼する

注意事項 本部や現場での打合せは充分に行い、作業内容・分担を全員に周知徹底する。
車両の誘導は確実にを行う。
作業に合った保護具を使用する。
単独行動、勝手な行動は行わない、必ず本部や責任者の指示を受け行動する。
通行止め早期解除を心掛け、全員が効率的に清掃・復旧作業を実施する。
緊急開口部の使用や、本線逆走での運行は特に注意する。(必ず本部に確認し実施する)
連絡・報告・指示は、間違えることの無いよう確実にを行う。
事故状況・災害状況の情報収集に努める。
中日本高速道路・高速隊・レッカー業者との連携を心掛ける。
夜間作業の場合は、十分な照明設備を準備する。
悪天候時・夜間等の作業では特に保安対策に留意し、NEXCOと協議して保安員の増員や、保安器具の追加等安全作業に心掛ける。
移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。
車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。